

FUJITSU 道路パトロール 支援サービス



老朽化が進行する道路インフラの維持管理において、厳しい財政状況、管理職員の減少という環境の中で、汎用機器とクラウドサービスの活用により、道路管理者に求められる道路施設の予防保全的な維持管理と日常のパトロール業務のDX化をご支援し、コスト削減および業務効率化を実現します。

道路の維持管理における課題

■ 業務負荷の増大

老朽化した道路のポットホール増加、住民要望による対応依頼などにより増大する管理者の業務負荷低減化

■ 舗装点検のコスト

外部委託による路面性状調査への継続的な予算確保が難しくなっている中での点検コスト抑制

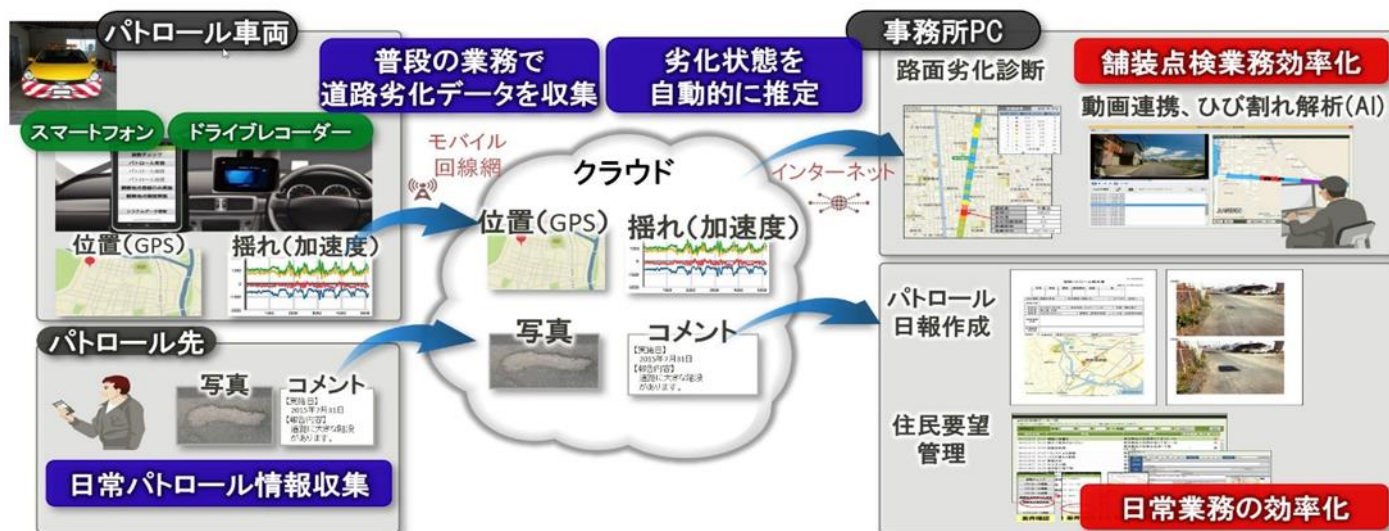
■ 予防保全によるLCM

長期修繕コスト削減に向け、予防保全の実行によるライフサイクルマネジメントの継続

サービス概要

スマートフォン、ドライブレコーダーを活用し路面劣化状況を管理者自身で把握することで舗装点検業務の効率化を実現します。またパトロール日報作成機能、住民要望管理機能などで日常業務をご支援します。各種機能はクラウドサービス上でご利用いただく形となります。

(注) 富士通Japanは、本サービスに関わる特許を2011年に出願済みです。



FUJITSU

道路パトロール 支援サービス

サービスの特長

スマートフォン、ドライブレコーダーを車両に搭載してデータ収集、管理者自身で路面の劣化状態を把握

スマートフォンのGPS・加速度センサーを活用し凹凸情報を地図上に記録、劣化状況が見える化

スマートフォンの診断結果とドライブレコーダー映像を連携表示でき、さらに映像からAIを使ったひび割れ評価が可能

日常パトロール中に異常をスマートフォンで撮影するだけで簡単に報告書、パトロール日報を作成

導入効果

日頃の維持管理業務の中で、作業者が意識することなく自動的に収集可能なデータを蓄積・活用することで、点検業務の効率化が可能となり、点検範囲の拡大や点検頻度の向上を図ることができます。

■ 点検作業の省力化

点検データの登録・確認・比較分析・報告書作成を容易に実現

■ 補修箇所の選定精度向上

頻度よく収集した多くのデータによる道路全体のスクリーニングを実現

■ 管理状況の継続的なモニタリング

日々収集されるデータにより、道路資産をタイムリーかつ定量的に評価

ご利用に関する費用 (税別表記)

初年度 標準機能のみ：1,660,000～、動画活用オプション含む：2,800,000円～

2年目以降 標準機能のみ：1,320,000～、動画活用オプション含む：2,420,000円～

■ 試行のご案内

本格導入前、予算申請前の試行を承っております（有償）。

※期間：1カ月～ 標準機能のみ：385,000円～、動画活用オプション含む：715,000円～
スマートフォン等の利用機器は無償で御貸し出しいたします。

ご利用実績

全国86団体（29国道事務所、18都道府県、39市区町村） ※2024年1月時点

富士通Japan株式会社

お問合せ先：お客様総合センター 0120-835-554

受付時間 平日9時～17時30分（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）